

京都市基本計画の構成

京都市基本構想
(2001～2025年)

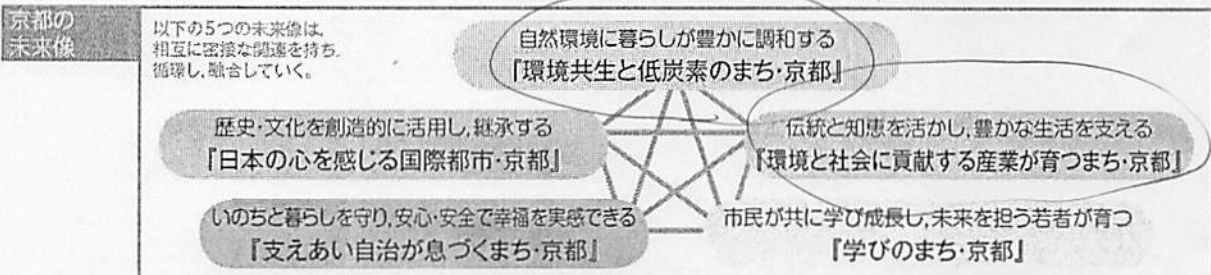
京都市基本計画(平成23(2011)～平成32(2020)年度)

計画の背景 基本計画を策定するに当たって、特に注目すべき社会情勢(①人口動向(人口減少、少子高齢化)、②地球温暖化の加速、③低経済成長(京都市の厳しい財政状況を含む))について簡潔に記載(第2次案で検討)

基本計画のあり方 計画の位置付け(基本構想等との関係)、計画期間(平成23～32年度の10年間)、「共汗型計画」として策定する趣旨、基本計画の枠組みを記載(第2次案で検討)

都市経営の理念 生活者を基点に、参加と協働で地域主権時代を切り拓く

- ・ 地域主権時代の都市経営のあるべき姿は、国の権限と財源の基礎自治体への移譲にとどまることなく、自治体とその主人公たるべき市民が自治意識を共有し、実践する、参加と協働による市政運営とまちづくりを実現することである。
- ・ 財政問題や少子高齢化、地球環境問題など深刻な課題が多くあるが、私たち京都市民は、ポジティブ(未来志向)な発想と行動で乗り越え、育んできた美意識や得意技を活かして、生活者を基点とした未来像を共有し、自主的に実現への道筋を見出し、共に汗を流して希望の持てる未来を切り拓く。



重点戦略

市民ぐるみで、暮らしやまちの変化を実現する 「低炭素型まちづくり戦略」	人と公共交通を優先する 「歩いて楽しいまち・京都戦略」	歴史都市の品格と魅力が国内外の人々を魅了する 「歴史・文化都市創生戦略」	歴史・文化と環境が調和し、公共交通を活かす 「個性あふれる地域づくり戦略」	旅の本質に触れられ、世界が共感する 「観光都市づくり戦略」
京都の知恵や価値観を活かした 「新産業創造戦略」	夢と希望が持てる 「未来の担い手育成戦略」	子どもと親と地域の笑顔があふれる 「子どもと共に育む戦略」	だれもが参加したくなる 「地域コミュニティ活性化戦略」	安心・安全と生きがいを実感できる 「いのちと暮らしを守る戦略」

(今後、第2次案に向けて、詳細を検討)

分野別方針

うるおい 1 環境 2 大衆・男女共同参画 3 青少年の成長と参加 4 市民生活とコミュニティ 5 市民生活の安全 6 文化 7 スポーツ	活性化 8 産業・商業 9 観光 10 農林業 11 大学 12 国際化	すこやか 13 子育て支援 14 障害者福祉 15 地域福祉 16 高齢者福祉 17 保健医療 18 学校教育 19 生涯学習	まちづくり 20 歩くまち 21 土地利用と都市機能配置 22 景観 23 建築物 24 住宅 25 道と緑 26 消防・防災 27 くらしの水
---	--	---	---

(今後、第2次案に向けて、各政策を推進する施策等について検討)

行政経営の大纲 行財政改革やマネジメントのしくみなど、基本計画全体を進めていくための基盤となる行政経営の方針を記載(今後、第2次案に向けて、具体的な項目を検討)

計画の推進 計画策定後のマネジメントのあり方を踏まえた市民との共汗による計画の推進体制や実施状況の点検・評価の方法等を記載(第2次案で検討)